○總統の南北妥協條件
國務會議に提出　討議延期

馮總統は南北妥協條件として（一）[illegible]（二）[illegible]別に要領を授け[illegible]北南軍は一律に撤退する事（四）[illegible]を駐屯せしめ駐屯地は四川雲南の兩省[illegible]は湖南人にて治め江西軍は湖南より引き上ぐる事[illegible]日の國務會議に提出せるも岳州危急の報に接せる爲め閣員の多數は本問題の討議を延期せ[illegible]したり（北京特電）

○岳州遂に陥落す
主戰派奮起—馮總統親征に決す

二十三日岳州陥落し北軍死傷多しとの報あり[illegible]主戰派奮起し馮總統愈親征に決し之を徐段の兩氏に諮りて同意を得一方主戰令も既に秘書長に命じて起草せしめたり二十五日の總統府會議にて確定す可し（北京特電）

□聖上陛下御答電
元帥號御贈呈祝電に對し

過般日英兩皇帝陛下の元帥號御贈答ありたるに對し[illegible]總司令官ヘーグ元帥より祝電を奉りたる[illegible]陛下より御懇篤なる御答電を賜りたり（東京特電）

○露政府對日英抗議
軍艦浦鹽派遣に就き

露國過激派政府は露都駐在日英兩國大使に對し軍艦浦鹽派遣に就き抗議を申込みたり（露都電報）

○獨俘虜北滿洲侵入計畫
支那政府東淸鐵道沿線防備命令

露獨單獨講和の結果從來露國に在りし獨逸俘虜は過激派の承認を得て北滿洲に侵入し來る計畫ありとの情報に接し支那政府は[illegible]督軍に對し東淸鐵道沿線の防備を嚴重にし之等の侵入を防止せよと命令せり（北京特電）

○露都に獨品現る

露都市場に獨逸品現はれ大恐慌を惹起しつゝあり（露都電報）

○目賀田男出發

遣米財政經濟委員目賀田男一行は廿三日桑港出發歸朝の途に上れり（桑港電報）

東京より
在京　一記者

對支政策の妙諦

○對支政策の妙諦は干渉不干渉以外に於て日支兩民族の精神的親善を圖りて日支兩國提携一致の實を擧ぐるに在ることを言ふを俟たず。苟も日支兩民族の精神的親善に由りて日支提携の實を擧ぐるを得ば干渉不干渉論の如き無用のみ。○苟も現内閣の對支政策にして内政不干渉主義を標榜せる以上は宜しく南北を打て一團と爲し之をして我に信頼し指導を我に仰がしむるの策に出でざる可からず。而して南北の政爭常に絶えず。北方派は我が勢力を利用して以て南方派を壓迫せむとし南方派は孤立援無く我が帝國の北方援助を疑ふに至[illegible]關係を持續し居れるが[illegible]當路者[illegible]吾人は內政不干渉[illegible]北方派にして政權を掌握するも南方派にして政權を掌握するも亦其の問ふ所にあらず。唯だ其の期する所は日支兩民族の精神的親善を圖り日支提携の實を擧げて以て東亞永遠の平和を確保するに在るのみ。吾人は現内閣の當局者が内政不干渉の聲明よりも寧ろ日支提携の實行を以て對支的質問に答へむことを望まざるを得ざる也。對支政策の妙諦を解し之を實行するを我が最善の外交と爲す。

◎日米金融新協定成立

日本銀行は時々發生する業務上の[illegible]

▽國際金融共助

[illegible]も成立し居れり[illegible]もなし即ち此手段として生れたるものなるが果して如何なる効果を齎らすや今日茲に斷言する能はず而かも其内容に就ては何人にも秘密に附する申合せありと云ふ問題の發生する毎に微妙なる國際的關係を有せる協定の精神に基き其解決上に多大の利益を得るならんと確信す（東京）

◎國庫證券應募
百萬圓內外乎

鮮銀本支店にて二十二日より賣出[illegible]

◎滿鐵線の說明

[illegible]滿洲を經て北行の豫定なるが同氏は滿鐵經營線の說明を聽聞したしとの希望を滿鐵に申出でしに付會社にては右說明の勞を執るため[illegible]

◎鮮銀の滿蒙奥地進展
鮮銀總裁の聲明

[illegible]

中なる臨時國庫證券五千萬圓の[illegible]募狀況は二十五日までの所鮮銀並に漢城銀行の各應募高及び現金應募合計九十六萬圓にして二十六日若干の應募あれども多分百萬圓內外ならんと

◎商船新造船

大阪商船會社[illegible]汽船阿弗利加丸（一萬一千噸）は來る三十日午前九時より同所に於て進水式を擧行する由なるが同船は今後引續き新造せんとするアラビヤ丸の姉妹船にして北米航路に就航の豫定なりと（釜山）

◎鐵道院輸送力

客年末より關釜間に就航中なりし鐵道院[illegible]

◎新職員試驗

[illegible]

○ア島附近英獨海戰

[illegible]

○土耳古兵逼迫す

[illegible]

○ク將軍總司令官

[illegible]

[illegible]十日は奉天支那側官民有志を招待し[illegible]行會社の首腦者を招待し夜は再び滿鐵公所に招待する由なり

○スチーブン氏通過

[illegible]國鐵道技師スチーブン氏は二十六日朝新羅丸にて來釜[illegible]山田課長は出迎の爲め來釜し午前十時半發列車にて北行せり（釜山特電）

◎電報遲延せん

[illegible]

◎鮮米の將來

[illegible]

大阪財界通信

[illegible]所の不引合なる爲め[illegible]値上げを決行するに至りたる[illegible]なれども協定相場は維持さるゝ[illegible]

△三井事業擴大

[illegible]

△綿花の最高値

[illegible]

（大阪支局）

十一月一日現行

李王世子殿下の御出發（廿六日南大門驛にて）

梅の都へ
―李王世子殿下御出發―
晴れやかなる陸軍少尉の御姿　盛んなる南大門驛の御見送り

李王世子殿下には御滯京中四日間は[illegible]方々との御對面、貴族及高官への御接見、或は御陵其他への御展謁の儀、市内各所の御視察、御催宴などのために一日として御歸省の御氣分をだに味ひ給ふ暇とてはあらで御懐しき父王殿下との

▽御睦 みさへ時間を限りた御日程のために思ふに任られざりしが[illegible]東京御出途の内に遊られけるが既に二十六日は暖かき德壽宮殿の春に名殘を惜しまれつ 皇帝ましますの梅の都へと御出發あらせられた 此日空は名殘りなく晴れ、殿下を奉送申上ぐるには

▽絶好の日和 にて陸軍少尉の軍服に勳一等の旭日桐花大綬章、副章を御佩用相成り其上に厚き毛皮著きたる外套を召されたる殿下はいとも晴やかの御顏にて午前八時三十分南大門驛に御著相成りたり

▽之より先き プラットホームには内人、御親戚及び朝鮮貴族、李王職員、勅任文武官及び外國領事、奏任文官、同武官、民間代表者、新聞記者、赤十字社員及び特別社員、愛國婦人會役員等數百名殿下奉送の爲め整列なし居たるが、發車時刻ともなれば[illegible]

▽貴賓室より [illegible]

▽水原御通過 [illegible]

▽盛なる送迎 大田御通過 李王世子殿下には豫定の如く午後[illegible]時二十八分大田著[illegible]

◈尊き御名殘 臨車の體にて 父王に御別れ

[illegible]で御見送りあり還をぬ名殘りに補を別ち給へるは八時頃なりき

◉運送船の沈沒

慶北九龍浦を十八日朝發したる鮮運搬船金比羅丸（十九噸）は十九日午前九時頃浦項に入港すべく同港[illegible]

◉賴みの綱は殘りの一艘
麗水丸は捜索中　各地に於ける運命果して如何

◈現場に急行 [illegible]

◈搜索の手を [illegible]

◈全く所在を [illegible]

◈轆轆壊れる
氣遣はるゝ
吉田朝鮮專務談

◈段々破損 [illegible]

◈今一隻殘 [illegible]

◈夏でも大丈夫 大たゞ
伊藤海事[illegible]談

◈沖へ沖へ [illegible]

◈全力を擧げ [illegible]

▲折柄斷水中 [illegible]

◉波多野氏 [illegible]

◉仁川電氣復舊 [illegible]

大雪 [illegible]

◉我が校是 高女校長訪問記

▽手鍋主義 大邱高等女學校長 [illegible]談

私は釜山の女學校に奉職中は高橋校長と同じ方針の下に教鞭を執って居たのですから、大邱に移つてからも其の主義を變へず手鍋提げ得る

◉誠實 の婦人を[illegible]して居ります[illegible]常生活に於ても[illegible]婦人の修身齊家の道[illegible]著物も[illegible]事を禁じ、不知不識の間に[illegible]品なだ

◉發達 になって行くのを[illegible]斷注意して實用向きの物を使用させるなど、何處の學校でも節約して居る事ではありませうが、私の學校では極力此點に注意を拂って居ります、時代精神の影響と、世態の推移變遷は婦人をして驕奢に趨らしめ、勞働生活を侮蔑くさせます

◉此れ は決して[illegible]

◉實用的 [illegible]

▽實用向の婦人 [illegible]談

本校は大正四年三月[illegible]小學校に併設され當時第一學年が十七名[illegible]では一學年十九名二學年十六名に[illegible]なりました

◉卒業生 は[illegible]

▲[illegible]

商況

東京期米 [illegible]

[illegible]

大阪[illegible]

仲買店 [illegible]

仁川期米

▲二十六日前場 下遊る

三十一錢 [illegible]

晴天候 [illegible]

仲買店 [illegible]

▲砂糖 [illegible]

仁川取引所 二十六日の二月限 [illegible]

◎綿糸布引返す [illegible]

◉石油の其後 [illegible]

北鮮産 [illegible]

京城正米 [illegible]

市場雜觀 [illegible]

田中金兵衞商店 [illegible]

神社と教會

○京城日本基督教會（長谷川町）[illegible]

○救世軍の集會 [illegible]

○日本組合京城基督教會 [illegible]

課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢書籍券を呈す▲賞は一週間後[illegible]

天氣

晴れ一時曇
（廿六日午後六時より廿七日午後六時迄）
二月二十七日

●…井上牧師「砂上の家庭」…●ＹＭＣＡ中學校新年大會 二十七日午後一時から同學校の新年大會がある 數番の餘興がある筈である

二丁目）二十七日午前十時三十分禮拜說教 「救究の岩頭」（其の一）仁川教會牧師聯田寅之助君午後一時川口牧師「救究の岩頭」（其の二）同牧師說教

●妙心寺休誌 臨濟宗妙心寺の二十七日…につき休誌

●藝者午話會 藝者午話會は二…

レバーコロニーの急務

東拓大連支店長 安藤義喬氏談

東洋拓殖會社が滿洲進出の意義は之れを單に會社自體より見れば會社の發展といふに止まるも元來拓殖會社が特種の性質を有し單なる營利的商事會社に非ざるを以て其の發展といひ其の滿洲進出といひ其裏に國家的將た社會的に何等か特種の現象の起生すべきは當然の事にして之れを具體的に云はゞ東拓の滿洲進出は亦た滿洲の邦人及び支那人の殖産工業の發達に資する爲にして若し之の目的に副はずば滿洲の殖産工業の發達を促進せしむるに非ずんば東拓の滿洲進出は

▲何等の意義 を爲さゞるものなり我が大連支店は大連市及び我が領有する關東州の産業の基礎を強固ならしめ其の發展に資せんが爲めに及ぶ限りの努力を惜まざるなり大連市の如きも外見上甚だ基礎強固にして内容充實せる如くなれども之れを内地其他の都市に比すれば其の商工業は未だ極めて薄弱なる基礎の上に立脚せる事を思はざる能はず之れ此の地に於ける各種商工業者の大部分が赤手空拳にて渡來し或る者は一攫千金を夢想して今や確實なる自己の地盤を作り得たるものありと雖も其の多くは未だ充分なる

▲資金を獲得 する能はず爲めに將に起るべき幾多の商工業の起り能はざる事情少からず東拓大連支店は此等の人の爲めに便宜に低利の資金を融通し其の消化力の成績に由り將來無制限に投資する計畫なり吾支店が都市に對する投資は前述の如く其の方法及び方針確定せるが未だ關東州農民又は農業移民に對しては適當の方法考案中にて唯だ僅かに普蘭店附近の農民に對し遼東銀行の手を經て農事改良資金の融通を企てたるも之等も支那農民の事とて其の消化力

▲極めて微弱 にして近き將來に於ては大なる期待を有せざるもの、如し而して一面内地人の農業移民を行はゞ如何と考案せるも之れ亦關東州内は土地磽确にして僅かに内地農民の移住を爲すべからざるなり茲に於て予は大連の現狀に鑑みレバーコロニーを企畫したり即ち大連港は近來著しき速度を以て工業の進歩發達を爲し之れが爲め今や内地人職工も非常の速度を以て增加し居るに拘はらず之等内地渡來の職工に對して相當の保護機關の設備完成せざるを以て彼等は物質上に或は精神的に安定する能はず

▲常に不安な る境遇に迫はれつゝあり之が爲めに生ずる工業の受くる處の不利益は意外に甚大なるものあるは茲に論ずるまでもなき事なり斯くの如く觀來れば茲にレバーコロニー即ち職工移民の必要なる事は解說を須ひざる處なり職工移民に就きては未だ具體的の計畫を爲したるに非ず又本社の許可を受けたる上に非ざれば勿論實行に着手し難きも予一個の考へとしては既に大體の成案あり先づ當地に於て最大工場たる

▲滿鐵沙河口 工場の職工に對する我社の第一職工移民の施設を爲し職工の幸福を圖ると共に一面滿鐵會社の爲めに善良なる職工の供給を爲すの計畫にて同工場理事長とも打合を爲したる處同理事長に於ても大いに賛成の意を表せられしを以て或は近く具體的成案となりて現るゝやも知れず職工移民第一計畫としては沙河口附近の民有地を手に入れ之に一戸千圓位の工費を以て五百戸内外の家屋を建設し各家屋には相當の土地を附屬し果樹、野菜等の栽培を爲さしめ此の家屋は毎月十五圓乃至二十圓の家賃を徴し十五年乃至二十年を經て其の家屋及び附屬土地は之を擧げて其の本人の所有權に歸せしむる事とし

▲移民村には 職工にして技術を有し且つ敬虔なる信仰を有する者を村長とし村内には禮拜堂、浴場、倶樂部、活動寫眞館等を設し善良なる風俗を育成すると同時に一面に於ては共同購買會式の商店を營み其の經營者を有給として收支損益の決算を明かに村内に報告せしむる等理想的職工村を成立せしめ且つ會社は更に進んで朝鮮の移民農漁村より直接米穀海産物を仲介輸入し其の生活に對して常に保護方法を取るの計畫を爲さば更に此の目的を遂行するに幾多の便益あるべし

立山の街（一） 製鐵場の建築でなかなかの繁昌

滿洲の枝光

△今年の秋から銑鐵を出し初めるといふ滿洲鞍山の製鐵所は昨今の繁多に工事を急いで居るから鞍山製鐵所の下車驛は奉天から四十四哩の立山驛である、立山驛は遼陽の戰爭で有名な首山の南五哩ばかりの處に在る

△遼陽から南下すれば線路のすぐ側の左方首山から起つた丘は幾つも千山の連峰に連つて居るが謂ゆる鞍山の鐵山は例の鳥神橋、中佐の戰死した首山堡からつゞいて櫻桃園、王家堡子、大孤山、關門山東西南鞍山となつてゐる、而して全山悉く鐵礦でなりたつて居るといふ

△されば從來は此のあたりの鐵道線路のバラス石にまでこれ等の鐵鑛を用ゐて居たものださうで鐵石の含有量は平均まず五十パアセントだといふ

△自分はホンの短時間の見物であつたから鞍山工場の作業現場を視ることを得なかつたが驛の附近から今の謂ゆる立山假市街だけは瞥見することが能きた

△立山驛は滿鐵の他の停車場の煉瓦建に比すればこれは木造の廉つぽいものであるが早晩また立派なものにもなるだらうし且つまた近く本當の立山市街が出來たならば驛から二哩半ばかり南の新鞍山の驛が出來るはず

△驛と立山の街とはだいぶ距離があるやうだが驛の附近は鞍山工場の準備係出張所及び工事係等木造の假事務所が四五軒並んでゐる而して煉瓦建としては此の冬落成した驛員の宿舍が二十四五軒あるのみである

△新らしい立山の街は驛の附近が支那町でこれから線路を踏切て越された處が日本人町で何もかもく繁昌してゐるやうに見受けられる

△殊に日本人町はまだホンの假市街であるから家屋はみな滿洲として甚だお粗末な普請であるが近く此の二三月頃になれば新らしい市街地の貸出しをはじめるから其方には堂々たる永久的建築が出來るとのことであつた

發展せんとする 我が航空隊 陸軍に航空局

陸軍航空隊の擴張と飛行將校の養成所たる臨時軍用氣球研究會の組織變更に付き

▼昨年末に 當局者は屢々所澤に於て協議したる結果航空隊を統轄すべき高級の專任將官を置くことになつた右に付き某陸軍少將は曰く「陸軍航空隊の擴張を圖るに就ては直轄すべき一局課を置き夫には航空機に精通したる

▼高級將官 を以て專任たらしめ統一を圖るが必要である」と云ふので最適任者として元工兵課長として航空機の革新に努力したことのある廣島の陸軍運輸部本部長たる井上幾太郎少將が今回選ばれて交通兵團司令部に轉任を見るに至つたのである

▼著京早々 直に航空局が置かれるか否かに就ては未だ明言するの限りではないが航空局新設の前提となるといふのは推察の通りである從來航空隊並に飛行將校の養成、臨時軍用氣球研究會の事務一切に關する指揮命令は交通兵團長の

▼直屬に歸 して居たが團長の指揮を受くべき研究會々長は代々陸軍次官が踏襲するを例として現に山田次官が會長である又會長、副長の外に直接間接に飛行上に關する實權は工兵課長にあつて飛行將校の養成及び機體製作の方針等一切の策源地となつて居る斯く

▼大姑小姑 が多い爲め事務が複雜して居る際に今回鐵道大隊が旅團編成となるに付き規模の擴大するに從つて團長の事務も亦增加する上鐵道工兵航空と各毛色の變つた各大隊を總轄する兵團長の事務も實に複雜して居るので一方に缺陷を生じないとも限らぬ然るに我が航空隊は技術も

▼歐米諸國 と比較しては殆して語ることの出來ない狀態にあつて今や必死に革新と發展を圖る時機に達して居る井上少將が此の急速度の發展組織變更の事を統一すべき專任になるのである（東京）

平壤牛價額調

昨六年中は最高相場を示したる一年にして平壤市場に於ける名物の一なる牛の既往四箇年間の賣買價額を聞くに

年別	種別	牡牛 (圓)	牝牛 (圓)	犢牛 (圓)
大正三年	大	[illegible]	五八、五〇	一〇、二〇
	中	四五、二〇	三七、三五	一五、〇〇
	小	三五、〇〇	三〇、二〇	七、五〇
大正四年	大	四二、〇〇	五九、五〇	一〇、〇〇
	中	五九、〇〇	三九、五〇	九、〇〇
	小	八五、〇〇	二〇、〇〇	七、〇〇
大正五年	大	八一、〇〇	四七、二〇	一五、〇〇
	中	四一、〇〇	三七、〇〇	[illegible]
	小	[illegible]	二五、〇〇	九、〇〇
大正六年	大	一二二、〇〇	九五、〇〇	二五、〇〇
	中	八五、〇〇	八二、〇〇	一二、五〇
	小	六五、〇〇	六二、〇〇	九、〇〇

等なりしが今各種別を通じて之れが平均相場を見れば三年四十五圓四十錢、四年二十八圓二十錢、五…

牛價は毎年所報の如く昨六年七十七圓中四十八圓七十錢、六年七十七圓七十錢にして毎々所報の如く昨六年中は既往四箇年間に於ける最高價を唱へ之れに次ぐは五年、三年にて四年中は最低價を示し居れり更に四箇年間の前掲相場表に於ける牛體量を檢するに左の如し

年別	種別	牡	牝	犢	備考
大正三年		[illegible]	[illegible]	[illegible]	
大正四年		[illegible]	[illegible]	[illegible]	
大正五年		[illegible]	[illegible]	[illegible]	
大正六年		[illegible]	[illegible]	[illegible]	

即ち昨六年中は平均相場七十錢を唱へたるにも拘はらず牛の體量は最低價を示せる四年に比して居るは注意すべく其の體量は前揭相場より少く下市場の賣買は前揭の如き價に記す如く一二割の高値を唱へ居るもの、如く加之買手はあれど放賣する樣なる者は既に結氷季に於ても然とせば來る農繁期に入らば一層昂騰を見るべく觀測されつゝあり

皮鼻疽有無 檢

牛價には近く馬の皮鼻疽發生したるが其の原因未だ判明せず萬一を慮りて其病毒まで傳染の形勢あるに付き其筋にては豫防令第十一條に基き全頭數に對し來る廿九日、卅日の兩日間指定の町馬に豫防注射を施行すべく右は平壤兵營所有馬並に午前十時半撫市驛に於て檢査し同町無の町馬は南日中に午前十時より檢査すべしと因に右は同町馬は馬五八頭、驢五頭、騾三十頭計九十二頭なり

兼浦飲料水

三菱の水道不足

第二浦の製鐵所は工業都市として發達すべき要素の一を缺くは水なり…

木炭下向く

昨今の天氣で餘り近く入つて來る

一喜一憂木炭の上り下りは燃料に惱む人は絶えざる…

新義州に天然痘 安東縣地方

…

演藝案内

▲大正館 ▲黄金館 ▲壽館 ▲有樂館 ▲稻荷座 ▲壽座 ▲浪花館

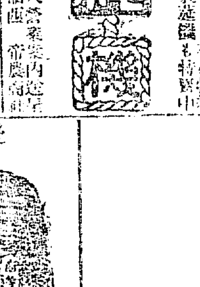
謹告 川合時計店 京城本町二丁目 電話二九一八 振替京城二三一九

謹近火御見舞 坂元分析所 京城府太平通二丁目 電話長一三四四番

謹近火御見舞 山内成賢 京城太平通二ノ三四

謹近火御見舞 駿府商會主 北村道三郎 京城南大門通四 電話二一六一番

一、大割石買入 澤井組



軍隊毛布

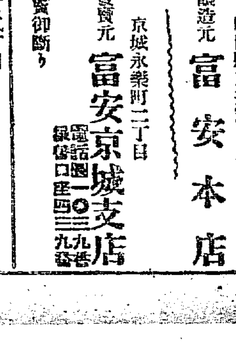
内職

東京織物仲繼店

株式會社 第一銀行支店 京城府本町二丁目（振替貯金京城一一番）
資本金 二二、七〇〇、〇〇〇圓 積立金 一二、二〇〇、〇〇〇圓 諸預金 一八八、〇〇〇、〇〇〇圓
支配人 西村道彦

冬季の化粧液 さしては顔色の美と皮膚の美を專らさする美顔ユーマーあり!!

人事周旋業 萬年社 京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番



優等清酒 釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店 發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店

謹近火御見舞 朝鮮公論社 日本電報通信社 牧山耕藏留守宅

旅行具專業 岩田鞄店 京城本町二丁目 電話五九四番

感謝廣告

金龍泰の十歳になる子供は數ケ月前より或病氣の爲めに非常に苦んで居りましたが總督府醫院の神岡先生の手術に依りて一命を取り留めました。彼は偶然一月十二日から小便が通じなくなり診察を願ひましたが神岡先生は御在宅の時でありましたが一時危險に拘らず…

京城府公平洞六十二番地 金永根

左甚五郎

第百五十席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

吉藏權平の兩人が金包を披いて驚き 權『是は兄貴何だ』吉『ヅッシリ目方があつたから金と思つて受取つたが、見れば鐵物だ、此の鐵物は船の中に打つてあつたのを剝したものに違ねえ』權『して見ると金物を剝して番頭が取つて置いたものと見える』吉『吝なしいことをしやアがる、けれども安宅丸の鐵物だから船大工の識や鑿でもあるめえ、此品が金なら大したものだ』權『素人には判らねえ、道具屋の重助さんの處へ持つて行つて見て貰ふ』吉『さうしてくんねえ』權『ゆきやアお前にも骨折は出すから』權平は翌日其の鐵物を持つて道具屋重助の處へ參り 權『重助さん、お前さんに一ッ見て貰ひたい物があつて來たのだが』重『オヤ權平さんかね、何だね、何か持つて來たのかね』權『此の鐵物だが』重『ヘエ大層光つた立派な物だが能く見て上げやう』と重助は手に取上げ眼鏡を掛けて見て居りましたが 重『此は大した物だ、お前誰から頼まれたのかね』權『然うでござんす、價が宜ければ賣つても宜いのですが』重『銅や眞鍮やア無い、俺の見た處では金だと思ふな』權『ヘエ！金でござんすか、何うか買つてお貰ひ申したいもので』重『五兩や三兩の物では無し、今直に買うと云ふ譯にも行かない、一日二日俺に預けなさい、然うすれば俺が高く賣つて遣りませう』權『ヘエ宜う ございます、貴下にお預け申して置きますから成るべく價をよく買つて下さい』重『此の持主は』權『俺の家に居りますので』重『然うですか、それでは一日二日お預けなさい、宜い樣にして上げませう』權『何分お願ひ申します』と權平は預けて歸る跡を見送つて道具屋重助は驚き 重『此品物は紛れも無い安宅丸の鐵物だ、見當つたら訴へ出ろといふお觸れになつて居る[illegible]にも[illegible]』と[illegible]へ[illegible]を持ちまして[illegible]へ持て參りまして宗右衛門に此を見せます、宗右衛門は見て 宗『コレ重助、此の鐵物は何者が持參をした』重『深川黒江町の船頭權平と申す者が持つて參りました』宗『是は徳てよりお觸れ出しになつて居る安宅丸の鐵物と云ふのである、[illegible]より御印にせよと云ふので七九の桐の紋を下し置かれた、それを鐵物といたして安宅丸へ打ち付けたのである、然るを先頃取毀しとなつたが如何して此鐵物を手に入れたか其權平と申す者を早速召捕つて取調るから左樣心得ろ』重『お心得まで申上げますが其の鐵物の持主は權平方に居ると いふことでございます』宗『左樣か其方は構ひなければ早速引取れ』と重助を退げて置いて直に宗右衛門から此の事を御奉行川口攝津守へ申上ると攝津守は驚き 川『早々吉藏を取逃さん樣に手當をいたせ』宗『畏りました』と直に手配になりまして町方へ沙汰になる、此方は吉藏權平の二人重助の骨折で鐵物が金になると喜んで酒を飲んで居る處へ役人が大勢踏込んで參り ○『御不吉、御用であるぞ神妙にいたせ』と否もなく二人を召捕りまして町奉行所へ引致します、川口攝津守白洲へ吉藏權平を引出して取調る、吉藏は最早免れぬ所と思つたから細付の露顯を上げ 吉『恐れながら御奉行樣へ申上げます、其の鐵物は[illegible]守樣より申受けたのでございます』川『何で其方が[illegible]』吉『[illegible]の吉藏で[illegible]ございました[illegible]安宅丸の船底へ[illegible]』[illegible]で申しました』[illegible]大騷動が起りました。

新築落成　京城明治町二丁目　入院治療　實驗病院　電話一六五九番　院主　佐々木吉造

無病長壽を希ふ人ありや　然して津村兄弟商會の　人參エキスを　知らず人參人參エキスに親しまる方は一生健全也　京城本町一丁目　津村兄弟商會　電話一〇八四

りん病　清湯自宅で秘密になをす　家傳秘法の妙藥あり同病者は一日も早く只一劑を用ひて其病毒を一掃せよ此藥は他の藥店になし切手三錢送れば其妙藥と自宅療法の詳細を數ゆ　名古屋市南武平町　藤浦吉

大阪市南區新町通二丁目　本舗　田知本和三郎製　各藥店販賣す　振替大阪二八一八番

處方を公開し責任を明かにせる
○ミツワ家庭藥
ミツワ家庭藥は内容を秘し徒に萬能を誇るが如き賣藥に非ず現代智識階級の要求に應ずる唯一の[illegible]

一、處方を公開し内容を明示す
二、處方は[illegible]
三、性質[illegible]
四、藥品[illegible]
五、製劑[illegible]
六、[illegible]
七、包裝[illegible]
八、内用藥は[illegible]
九、[illegible]
一〇、價格低廉[illegible]永く[illegible]

品名	効能	容量	價
ミツワ人參[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ミツワ鼻病液	鼻加答兒、鼻充血、臭鼻症、鼻茸等	壜入	[illegible]
ミツワ含嗽錠	咽頭炎、口中一切の病の消毒	百五十錠入	[illegible]
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひる	壜入	[illegible]
ミツワ鎮痛液	打撲傷、神經痛、レウマチス等	壜入	二十錢
ミツワ[illegible]錠	眼病、婦人[illegible]流行病の消炎防腐	百五十錠入	二十錢
ミツワ撒布藥	汗疹、多汗症、表皮剝脫、皮膚糜爛	紙函入	十錢
ミツワ泥膏	火傷、濕疹、毛瘡、擦過傷等	硝子器入	十錢
ミツワ殺蟲液	蚊蚤等に螫されたる場合	壜入	十錢
ミツワ養毛液	脫毛、皮脂過多を防ぐに用ひる	壜入	五十錢
ミツワ[illegible]膏	面皰、酒渣鼻、毛瘡、白癬、疥癬等	硝子器入	二十錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡、皮膚龜裂、皮膚の裂、水蟲	硝子器入	十五錢
ミツワ濕疹膏	濕疹、皮膚瘙痒症、火傷、汗疹等	硝子器入	二十錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症、肋膜炎、腹膜炎	百錠入	一圓五十錢
ミツワ治淋藥	淋疾、膀胱加答兒、尿道加答兒等	カプセル五十個入	一圓五十錢
ミツワ淋疾洗滌藥	淋毒性尿道炎一般に用ひる	洗滌器入壜	五十錢
ミツワ痔座藥	痔核、痔瘻、肛門裂瘡等痔一切	六個入	三十錢
ミツワ婦人座藥	白帶下、子宮內外膜炎、膣炎等	六個入	四十錢
ミツワ腋臭藥	腋臭、陰臭、手汗、足汗等	壜入	二十錢
ミツワ頭瘡膏	頭瘡、頭[illegible]に陰囊[illegible]、白癬、濕疹等	硝子器入	二十錢

[illegible]

內科　胃腸病　石川醫院

大日本優等清酒　品質純良　衛生無害　嘉納合名會社　前田酒店

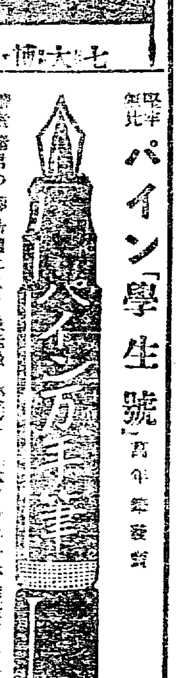
內科小兒科外科　花柳病　婦人科　外科一般　朝鮮病院　京城黄金町一丁目　（入院隨意）　電話二八三七番

旅行用具一切　特許　專賣品　ワングル製鞄　東京製鞄各種　毛布一枚綴（五十錢以上）　防水布マント各種　蒐法瓶及中瓶取替　鞄製造販賣　京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

品質第一　誠實第一　賣行第一
キッコーウリ　最上醤油　釀造元仁川港　日本醤油株式會社　京城出張所　京城大平通二丁目　電話二四五番

在野人士の必讀缺くべからざる二大珍書　判任文官試驗に應ず　第七版　法律上　[illegible]　朝鮮語　第二版　朝鮮語讀本　定價　七拾錢　五拾五錢　京城日報社代理部　一手販賣所

健康となる金科玉條は　蜂印香竄葡萄酒を　朝夕飲用するにあり　血を增し肉を肥し　知らず識らず健康體となる


パイン「學生號」萬年筆　少しも劣らず　耐久力高價の萬年筆に　發賣元　京城日報社代理部

京城日報　二十七日發刊（朝夕刊併せて八頁）

對露經營

京城日報

今日露西亞は、依然無政府狀態なる上に、過激派政府は、敵國と單獨講和談判を開始し、露國は茲に分裂し、ウクライナ其他の諸地は、相踵いで獨立するといふ有樣にて、其氣脈名狀すべからず、併ながら、露西亞の山河は、依然として、舊の如きものあり、其國七千萬人と豐富なる天賦の資源あり、從來の關係諸國民は、各戰後の對露經營の策を講じて、其の及ばざるを恐るゝの情あり。

最近の諸報道を綜合するに、露西亞に對する戰後經營に、最も熱心し居るものを、英吉利と爲す。蓋し英吉利は、十九世紀中對露貿易上の首位を占め居たるに拘はらず、近來獨逸の爲めに、其驅主先きを侵奪せられ、佛蘭西其他諸國亦獨逸商人の爲めに、蠶食せらるゝの勢を成したり。過般巴里經濟同盟を取り結びて、中歐同盟を孤立せしむるの方策を立てたる主眼亦此にありて、露西亞より獨逸の勢力を排除するは、英佛其他巴里同盟參加者の共通の目的たり。然るに今や獨逸は、先づ露西亞と單獨講和談判を開始し、其條約中にも、通商貿易の條件も約束するといふ有樣なれば、單獨講和成立するに至らば、露獨經濟上の同盟者たるに至るやも知るべからずして、萬一にも其事此に至らば、巴里經濟同盟の一角は、此に崩るゝのみならず、戰後の商戰上又々獨逸の爲めに、先鞭を著けらるゝに至るべし。

然らば英國人に如何なる經營ありや、吾人未だ卸を得ざれども、昨年來英國內外、識者有力者相謀りて、戰後經營の準備策を講ずるに忙はしく、第一に商事通信機關の大改造を企て、從來外務省、商務院に分散し居たる諸機關を統一して、其機能を敏活ならしむるを勵し、第二に普通教育として、露國語を獎勵し、露西亞語獨逸語等を教授し以て、商戰の勇將壯士を養成せむとす、其他露國に對しては、特殊の金融機關を設け、及び英露人の共同事業を經始するの方針を取る等、稍人の耳目を動かすに足るものあり、而して此の事實は、獨逸の爲めに對露經營の先を制せられたる恐あれども、英吉利の强味も亦これ無きにあらず、兎も角も開戰以來、昨年末まで、獨逸は全く交戰國の爲めに、閉鎖せられて、露國との取引をも絶止し居たるを以て、此間英吉利は、其商賣上及び經濟上に、十分に手を伸ばすの機會を有したるを疑はず。今日露國に政府らしき政府なく、過激派の如きは、徒らにして、其友邦の權利利益を蹂躙するが如き暴擧を爲すを以て、世間往々其心情を損するものあれども、是れ露國民の革命心理の發作なり。一時的の現象なれば、月日を重ぬるに從ひ、其本に反り、其正に就くべく、露西亞人民は、則ち甚だ人に友好を惜しまざるべからず。乃ち今日は日露の外交上の關係完全ならずと云ふも、其商工業上の施設經營を誘導するに於て一日を怠るべからざるなり。

客年朝鮮貿易（六）

重要貿易品及觀別貿易

▲鐵板　百六十八萬八千餘斤四十一萬餘圓の入荷にして數量に二十萬三千餘斤を減少し價額に十八萬七千餘圓を增進せるは本品の減退は一般需要の如何に依るにあらずして昨今兩年にかける主要建設工事材料品入荷の關係に基くものとす

▲鐵道及管　三百十二萬九千餘斤の入荷にして四十八萬七千餘斤の增進なり大部分は三菱製鐵所用鐵管の入荷增額を爲したるに由る

▲石炭　六十一萬七千餘噸三百五十九萬餘圓の入荷にして二十一萬五千餘噸百七十五萬八千餘圓を激增せり一般事業界の殷盛による需要並に鐵道所要額の增加之が主因をなせり

▲木材及板　百四十一萬餘圓の入荷にして三十八萬五千餘圓の增加なり企業界の旺盛に伴ひ之が需要を激增せしのみならず財界の好調

▲生皮及熟皮　生皮二十七萬五千餘圓熟皮三十八萬四千餘圓の入荷にして前年度に比し四十九萬七千餘圓の增加なり著しく二十三萬八千餘圓の減退なり共に輸移入者たる鋼鐵皮革會社に於て露國軍需品の註文中絶に依り需要額を減少したるに由る

▲古鐵及屑鐵　五百四十四萬一千餘斤三十八萬五千餘圓の入荷にして二十二萬六千餘斤を增加し一般建築界も亦盛況を呈せしに由る

▲棉花　綿移入額五百九萬二千餘斤を計上し四百二十二萬一千餘斤の增加なり

▲機械及同附屬品　機械類の入荷七百五十二萬二千餘圓にして百二十三萬五千餘圓を激增せり鐵道工事用及諸工事用の需要並に三菱製鐵所用機械の入荷に基因なり

▲諸機械　[illegible]

中央歐羅巴とは何ぞや（四）

村野外務

[illegible]

遊支偶錄

蘇峰生

（十八）恩讎の念

讎何んぞ容易なる、只だ日支親善と云へば、何時にても其事が出で來るものと思ふ。支那人は此の如き單純の人種にあらざる也。彼等は文明に中毒せり。彼等は自然自得也。彼等は極めて實利的の本能を有するに拘らず、理窟に囚はれたる人種也。相當の口實、若しくは理由を見出さずんば、一擧手一投足だも能はざる人種也。大義名聞とは、即ち此の口實也。理由也。孔夫子の所謂る、名正しく言順とは、亦た此事を意味する也。天下は當然强者の掌に歸す可き事實を、繰り返しながら、其の天下を取るに際しては、種々の言草が入用也。遠くは周の武王より、近くは袁世凱に至る迄、皆それ〴〵の文句を捏ねつゝある也。斯る人種に對して、理由も語らず、說明も與へず、徹頭徹尾、唯だ我が言分を押し通さんとす。如何にお心善の相手と雖も、それにては得心出來ざる可し。況んや虛榮心滿々として、理窟に拘泥する支那人に於てをや。先天か後天かは、知らざれども、支那人は殆ど不淡泊の人種也。彼等が役人となるにも、役人を罷むるにも、其の進退出處、必らず他人に由て、申譯のあるを常とす。而して後之を決行する也。決行したるを、殆んど同時に、其の理窟を製造する也。無遠慮に、我が人種に向て、註文を强制す、彼等をして憤慨、屈辱、不愉快を結ばしむる所以、決して偶然にあらず。支那人は忘讎者にあらず。彼等の恩讎の念に於て、淡泊ならず。吾人は我が不用心、無頓着の結果、徒らに支那人の反感を活ふ影響の甚だ重大なるを虞れずんばあらず。

どうして（五十二）

布施生譯

實は其當時可なり自墮落であつた。娘との約束だけは正直に守つた。そして首尾よく娘を女子大學へ入れて三年の學科をやらせる事にしてから娘を大切にしてくれた。娘を大切にしてくれたのは時々の接長の手を經て定額をもらつた。娘を送る位は譯なく銀行切手に署名する手數だけで濟んだ。……もしかつた。もしかそれに聊かでも苦勞が要ると云ふ事であつたら

[illegible]

それぢやあ私は自分の我を張るなら父は……一向見込は無い。……一方は私の外に人は……父が自分の方から……私を恐れた……

[illegible]

二十六日の三品限

[illegible]

◎綿絲は昨年印度の輸出禁止以來供給大に減少すると共に一方諸工業の勃興は需要をして益々大ならしめたる爲め戰前には一噸四五十圓に頓ける矢先き前約品の入荷相當に依然待合の景況を續け……一方高値の反動にて人氣幾分弱氣に押したり、而して十二月中旬迄は三百圓に昂騰したるが新春に入り人氣益々沸騰し昨今にては東京に於て百五十圓…… 品物の通迫を告ぐる事ある可しと豫想され從つて人氣甚だ强硬にして相場も尚ほ相當の上進を見る可しと觀せられ居れり（東京）

仁川米　大阪前止め幾ら　[illegible]

講談 落語 娛樂世界

越前騷動 小町のお島　飛行 怪俗の正體　黃金 鶴山騷動　現ひの力　千波仇討

二月號　東京 娛樂世界社

東洋大學教授 境野黃洋先生著　支那の佛教　大阪屋號

岡本淸逸先生　神原一慶先生　英和熟語大辭林　金貳圓五拾錢　四六版堅牢美本 千三百二十餘頁　東京 富山房　大賣捌 京城日韓書房 大阪屋號

婦人界 二月號　婦人貞操號　本日出來　貞操に關して疑ひ疑はれたる經驗　自覺と準備　嗚呼柳川春葉先生　定價二十七錢　東京牛込加賀町 婦女界社

サッポロビール

移轉廣告　本日左の所に移轉致候　京城旭町壹丁目貳拾八番地　大日本麥酒株式會社 京城出張所　電話二四六番

日本研學協會編纂　中學校長推奬　大學入學準備者のため　京城日報代理部

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（二十六日）

▲豫算總會

衆議院豫算總會は前日に引續き二十六日も午前十時二十分開會小川委員長より二十七日增廢税委員會には總理、外務、遞信各大臣の出席を要求し居れば本日の豫算委員會には右三大臣に對する質問は延期したし尚ほ質問通告者四名あり質問は簡短に要領を得る樣にしたしと注意し通告順により林毅陸氏（政友）今日の時局に際し政府は精神動員即ち特種の國民思想統一の必要を感ぜざるかと問ひ寺内首相は政府は國民思想の問題に就きては常に重大なる注意を拂ひ其の統一健全を期し居れりと答ふるや林氏は更らに大正五年七月三日締結の日露密約の内容は昨年十二月露都に於て發表されたるが之れに依れば日露兩國は支那に於て兩國の政治上の地位を得んとする第三國に對し協力防備すべし一國宣戰する時は要求あり次第他の一國も第二國に宣戰すとの此の條文の意義の說明を求むと述ぶるや本野外相は此の點に就て其の事實如何を說明するは國家の利益に非らずと信ずと答へ林氏は更らに昨年十月露都にて日露外交の秘密過激派に發表され其の内に昨年二月本野外相は露國大使に對し青島及び南洋諸島處分に就ては講和の際に日本を援助せられたしと要求せりと記されたるが此の要求に對し露國の回答如何を問ひ本野外相は之等の事に就きては今答辯の時期に非ずと信ずと答ふるや林氏は事實の經過を表白する能はずとせば之等の處分に就て政府の意見として聞くを得んかと迫り本野外相は青島南洋諸島の處分は宜しきを得ざるべからざる事は申す迄もなし政府が之れに就て假令其の衝に當る勿論なりと答へ次に尾崎行雄氏（憲政）は政府は外交調查會を廢するの意ありやと問ひ寺内首相は其は不明なり一に聖旨に依ると答ふるや尾崎氏更らに輔弼の責任は政府之れを負はずと云ふ意なりやと反問するや寺内首相は充分輔弼の責に任ずと答ふ尾崎氏は更らに帝國の外交は調查會に牽制され充分の活動をなす能はず且つ外交失敗は事實ならずや無用の長物とせば之[illegible]

[illegible]寺内首相は政府は無用[illegible]外交の失敗は[illegible]府の命により[illegible]

尾崎氏[illegible]

野外相は兩國宰相の會見[illegible]

◎露國國債拒絕せん

[illegible]

◎日英、獨逸要求

[illegible]

◎露都市街戰猛烈

[illegible]

◎物騷なイルクツク

[illegible]

◎露國鐵道の現狀

[illegible]

▲目的地へ直行 [illegible]

▲上田、谷兩氏 [illegible]

▲又氏は語る [illegible]

▲其中に起臥 [illegible]

▲如何に整理 するつもりか問ふのは無理だ、露國の當局者に援助を與へて何とか整理せねばならぬが、誰れに其相談を持懸けて可いか、先づ其相手を定むることから困難だ、浦鹽斯德には予の本國から送つた鐵道材料が堆積されてある、其等の受取手も無ければ、當方から安心して引渡し得べき者も見當らない、昨年來米國から派遣した鐵道技師及び職工等二百人許りは浦鹽で

▲上陸を拒まれた爲めに現に長崎に滯在せしめて居る始末

◎爲總統南下運動

[illegible]

◎王世子殿下 釜山御發

[illegible]過ぎたる頃ほひ[illegible]十四日の月は[illegible]江上に張り詰めたる[illegible]殿下には[illegible]鏡の如く[illegible]麗はしく[illegible]

▼月夜の風光 を賞せられつゝある間に列車は午後七時釜山驛第二ホームに着せり殿下には藤本助役、岡村主任の御先導にて列車より降り立たせ給ひ出迎への諸員に御會釋の上停車場ホテルに入られたり斯くて御晩餐後は若松府[illegible]

▼鐵蛇の縺り 緩かなる[illegible]驟れる月冴わて微風だも無く[illegible]上を船は徐々として港外に向ふ、此時殿下には金武官を從へ甲板上に立ち給ひ棧橋埠頭の諸員に答禮あり船の十數町を離るゝ頃御帽子を振り給ひ只管別れを惜しまれつゝある間に船は次第に黑煙を吐いて遠ざかり行けり（釜山特電）

◎筑摩艦凱旋

昨一年間特別勤務に服せる筑摩艦は二十六日佐世保軍港へ凱旋せり（佐世保特電）

◎王世子御通過

李王世子殿下には二十六日午後四時九分大邱驛御通過[illegible]御機嫌麗しく釜山に向け御通過あらせられたるが官民學生の送迎盛なりき（大邱特電）

◎全州農銀總會

全州農工銀行は二十六日株主總會を開き昨年下半期の計算を議し株主配當年八分とし後期繰越金一萬六千九百六十九圓八十三錢一厘にて未曾有の好成績を擧げたり（全州特電）

◎撫順炭坑長南下

米倉撫順炭坑長は二十六日午後六時半通過南行せり（安東縣特電）

◎剩餘金計算

政府は大正七年度豫算に於る前年度國庫剩餘金の計算を廿三日發表

純剩餘金三百餘萬圓

[illegible]	[illegible]
減少額 整年度に操越したるが爲め減少	[illegible]
内	
大正六年度に於て使用すべき普通歳出額	五六、四九三、八六五
特定財源ある繰越額	[illegible]
繰延額	[illegible]
不用となりし定額	[illegible]
歳入增加額と歳出減少額と合計	[illegible]
豫算上に於ける歳入不足額	[illegible]
差引	[illegible]
合計（歳計剩餘金）	[illegible]
内	
大正六年度に繰越したる普通歳出の財源	[illegible]

◎期米奔騰す 空前の新高値

通貨の膨脹[illegible]價の昂騰せ[illegible]容易に下落せざるのみか[illegible]

るゝに至[illegible]なる所な[illegible]の供給不[illegible]は世人の記憶に新[illegible]個々本年は四百萬石[illegible]を示し新穀期ながらも[illegible]質に二十五圓四錢てふ高値を示し結局三圓九十錢にて大引けせるも空前の高値にして之を記錄的相場に比するも倚ほ十八錢方新甫發會

▲賣方の[illegible]の不明なるが爲め產地買付躊躇せらるゝ事とて舊歳末の接近に連れ農家の軟化を豫想されしも事實は[illegible]缺陷上[illegible]深川在米の如きは二十餘日の久しきを經るも僅に七八萬俵の增加に[illegible]は正米事情に加ふるに外國米の禁輸懸念や實收減說や雜穀高抔乘ずべき材料決して乏しからず特に內[illegible]雜穀相場を前年度と對照するに左の如し

品種	前年一月廿三日	本年一月廿三日	騰落率
大麥	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

のみか思惑に自ら程度の存する事とて目先尚ほ買ひ進まれんとするの振合なきに非ざるも斯く買はるゝ丈け大反動安を演ずるの虞れ[illegible]

朝鮮鑛業法規[illegible]

▲採鑛法[illegible]▲鑛物[illegible]朝鮮鑛業令[illegible]各地質鑛脈所在地[illegible]參考書也

ウツボヤ書籍店

[illegible]植物[illegible]大[illegible]

ウツボヤ書籍店

朝鮮地理

定價金一圓五十錢　郵税八錢

[illegible]學生[illegible]に於ける[illegible]族別、民[illegible]衣食住、行政、財

[illegible]商業、戶口、山河[illegible]地勢、交通、商業[illegible]組合、町名、名所、舊跡[illegible]各種の參考表を以てせり[illegible]府郡島面索引及內地[illegible]音別日次を追加し、[illegible]朝鮮に於て公[illegible]の案內者たる指導書たり[illegible]に最も關係あ[illegible]項を蒐集せるを以て[illegible]たりとす[illegible]事業計畫實行[illegible]に當り[illegible]本書は名所、勝景[illegible]の探究に便せり[illegible]詳細なる調查資[illegible]

事情に精通せんとする有志者は速に[illegible]

發行所 京城日報社代理部

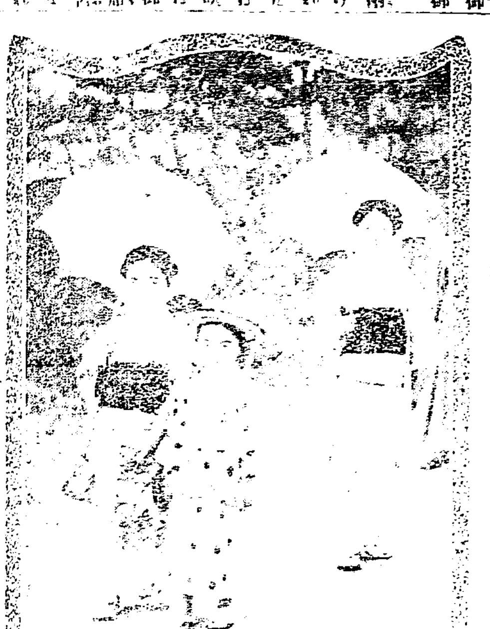
取次 ウツボヤ書店　日韓書房　大阪屋號　慶松堂

良子女王殿下（三）

玉の如き御美聲　『御手藝が御上手』

良子女王殿下は每朝八時に御目覺めになられます『御父君樣お早う御座います』『御母君樣お早う御座います』と玉の如な美しい聲で御兩親殿下に御挨拶を申し上げ朝の御食事がお濟になられますと御姉妹姫宮を連立たせられて御學習院へ御登校遊ばされます雪の降る日風の吹く日でも一日も御缺席遊ばされた事がございません御學友の中で病氣の爲に缺席された方がありますと姫宮の御案じ方は一通りではなく直に御見舞を使はせられて暖かい御同情のお言葉を給はります

○雪の降る日など御學友の[illegible]なられますを[illegible]立たせ給ひながら『寒かつたであらう御苦勞でもあつた』と優しいお言葉



しい女で姫宮には殊の外に御手藝が御上手で別けても裁縫の如きは御母君殿下に入らせ給ひ[illegible]より針の運びを學ばせられ[illegible]と呼ばれては常にお相手を申し付けられました御調びなども御自分で縫はせ給ふばかりか[illegible]の御食事も皆て選り好みをなさ[illegible]

形にも『お姉樣が著物を縫つて上げませう』と美しき小布を取寄せられては一々お物を仕立られます

[illegible]

憐れ、藻屑と消えしか

▽麗水丸の乘客船員

翼でもなければ迚も助かるまい

廿六日午後七時仁川入港の[illegible]の乘客十二名船員十七名の消息に就て仁川木浦線就航晉州丸船長は語つて曰く[illegible]麗水丸の遭難に就いて[illegible]本船が遭難の現場を通過したるは午後十時頃なりしを以て燈とは判ぜざるも多分麗水丸は

▲微塵に破碎　したるものなるべく附近に於ては何等夫れらしきものを發見する能はざりき夫より先本船は群山港口に於て同船備付の救命環、扉其他船體の破片等が漂流せるを發見したるが彼此相對照すれば同船の最期が

▲如何に慘澹　たりしか想像するに難からざるべし行方不明[illegible]一縷の望を[illegible]るが同船には傳馬、端艇各一艘ありしも[illegible]然かも其の傳馬は[illegible]長等が之を[illegible]引剝したる際激浪の爲め破碎し同事務長等は

▲殘る一隻の　端艇に投じて出發したりと云へば他の船客乘組員等は避難の途なく空しく本船と運命を共にしたりと信ずるの外なし假令一歩を讓つて其々避難の途を講じたりとするも身に寒氣を帶び彼の激浪にては到底死の手より逃れ出づる事不可能なりと思推す（仁川特電）

一縷の望み

十六名の生命

二十六日の午後まで麗水丸遭難者搜索のため出動してゐる全州丸からも錦江丸からも確たる報告が郵船會社に來ないが要するに沈沒船の本船に殘つてゐたボート並にボートの破片を附近に見出されぬ限り十六名の人々の命は僅に一縷の望みを殘されてゐる然し仁川に殘つた乘客並に乘組員の家族の痛心は大方でないからそれを慰むる爲吉田專務は廿六日午後下仁した

雪の行軍

龍山騎兵隊平壤に到著

龍山騎兵第二十二聯隊第三中隊百八十餘騎が中隊長中村大尉の指揮のもとに去る十九日午前八時龍山練兵場を後にし轡を列べて耐寒行軍の壯圖に出でそれより[illegible]しが其後同騎兵中隊は京畿道の山嶽を縱走して黃海道に出でそれより遂安、鐵原を迂廻し南川に於て村落露營を行つて寒と戰つた、そして中隊ではこれを十騎宛[illegible]

獨探搜査

京都全市に亘る

京都警視廳は獨探に就き搜査を開始し京都にては全市に亘り探査を開始し某陸軍豫備中尉嫌疑者として取調べられ居れり（京都特電）

▲神戸にも及ぶ　獨探搜査の手は神戸に延び愛に渡來せし某國名士嫌疑者と目されつゝあり（神戸特電）

松山市の大火

伊豫電鐵類燒

二十六日朝愛媛縣松山市活動寫眞常設館松山館より出火し伊豫電氣鐵道部を全燒同電氣部半燒せるが損害七萬五千圓に及ぶ可し當地空前の大火なり（松山特電）

◎北陸山陰線開通

久しく雪害の爲め不通なりし北陸山陰兩線は開通せり（大阪特電）

◎猛猪二名を傷く

黃海道谷山郡伊寧面巨利所里硯石洞鄭顯用方の豚へ八日午後三時頃野猪一頭侵入し來りしを以て鄭及び同人女婿金大鎭は之を捕獲せんとせしに該猪は突然兩人に跳り掛[illegible]

四組に分れ

[illegible]

◎凍死と行倒れ

[illegible]

◎料理屋[illegible]

[illegible]

□紋附禮服を著用した朝鮮人（[illegible]）

朝鮮人の紋所

◇內地人に倣て紋附の
◇禮服が流行り出した

古より朝鮮に禮服がないのではないけれども一般朝鮮人同志の交際に必ず禮服を著なければならぬと云ふ事もなかつた、のみならず朝鮮に在來の禮服と云ふ物は

◇非常に窮屈なもので是非著ねばならぬ時、例へば宮殿に出入する時又は冠婚喪祭の儀式の外にはあまり用ひられなかつた、併し時勢が變つて來るに隨つて朝鮮人も右の場合の外に

◇禮服の必要を感ずると同時に在來の窮屈な禮服では到底用をなさないために故倉吉源氏は色々研究した結果黑木綿地に醬色の朝鮮紬の裏を付けた

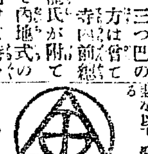
◇一種の禮服を拵へて京先[illegible]著て歩いた、所が趙重應子及び其他の同志も大いに贊成して、ポツ〳〵著用する樣になつたのが抑々の初まりで今は大正親睦會、老人親の連中が盛んに著て歩くのみで

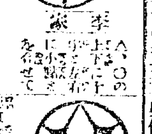
◇研究　する處があつた、そこで前李王職典侍白時鏞氏は朝鮮人も內地人の禮服には紋所がある如く朝鮮人の禮服にも矢張り紋所がなくてはならぬと云つて色々

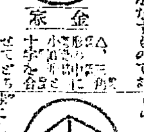
新案朝鮮の紋所

白時鏞氏が朝鮮人の用ゐるものとして新に案出した紋所の中から四つ五つ紹介する三つ巴の方は曾て寺內前總督から瑋相龍氏が附けてもつたもので內地式の打紐に附けて時々宴會などに現れることがあるさうである、次のは趙子爵のもので現に用ゐてゐるものである。

李家
△、〇の上下に十字[illegible]


金家
△、三角[illegible]


朴家
△、三節[illegible]


張家
△、弓矢の[illegible]

◇一般の朝鮮人士に勸めたのであるが今は殆んど一般の禮服になつた樣な傾向がある、それにしても內地人の姓に因める紋所を研究して色々面白い意匠を案出して先頃每日申報に發表したが今は朝鮮人の間に盛んに賞用されてゐる

物價騰貴（一）

生活難

は豫て癩病し京城市內を徘徊中二十五日午前九時頃西小門町五番地先の路傍に絕命し居るを發見せり又二十五日午前九時頃花園町の路傍に六十歲位の朝鮮人女一名、太平通一丁目の路傍には同じく朝鮮人男一名凍死し居れるを發見、二十二日午後五時頃[illegible]

◎看護婦募集　龍山鐵道病院にて看護婦[illegible]

◎喧々囂々　耳を聾す

[illegible]ものがあるだらうと思はれる位であるしかも物價騰貴に對しては惡感の聲を放つては見るものゝ實際的にはこれを如何ともすることが能きないのは致し方がないこと[illegible]

◎手段[illegible]

[illegible]

▲他の諸物價

と同一視し能はざるものと解せられ居るものゝ如く試みに本年一月二十三日の[illegible]

[illegible]昨夏七月限七十二錢の[illegible]新物出廻節會の品目中に數へられ最高値たる七十二錢を突破し[illegible]二十四日[illegible]期米は人氣に逆行して却て上放れ[illegible]二十三日は別に突發材料の現はれたる譯[illegible]從して益々硬化せんとする[illegible]

寫眞　京城日出町[illegible]

朝鮮肥料製造所　肥料部　京城東大門外　電話二六三五番

朝日石鹼製造所　京城[illegible]　電話二五六四番

礦石買入　大阪[illegible]　渡邊商會

醇良無双清酒　醸造元　首藤合名會社　發賣元　首藤京城支店　首藤釜山支店　長電話三四三番

カタン網　吉備商會

廣告　京城南山町二丁目卅一番地

久原鑛業株式會社　京城事務所　電話長三四九番

營業要目　鑛石買入、鑛山調査
當所は從來鎭南浦製錬所出張所として執務致居候處今般之を京城事務所と改め買鑛調査の事務を取扱可申候間倍舊の御眷顧奉願上候

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　酒井婦人病院　院長　酒井一郎　電話一六八番

資本金壹百萬圓　株式會社　朝鮮商業銀行　京城南大門通一丁目　一般銀行業　倉庫業　南大門支店　本町支店　仁川支店　群山支店　平壤支店　東大門出張所

外科　內科　皮膚科　小兒科　花柳病　島崎病院　京城旭町一丁目　院長　正六位勳四等功五級　島崎龍二　電話二七三六番

女子事務員募集　[illegible]

カーバイド　本村商會

醫師代診入用　[illegible]

勸業債券買入　[illegible]

總督府印刷所　[illegible]

礦物定量分析　坂元分析所

櫻御殿

第百卅三回　大阪　殿の家主人

二人士（十二）

二人の士は同じ運命に繋がれては居るが、こゝへ至るに及んだ經路に相違がある。助左衛門は百助の謀計に乘せられて引き入れられ、利右衛門は危い命を助けられて、後はれた、然もそこに弱い點を抑へられて居る。假へ此處は[illegible]ても、迂闊の犯人として[illegible]たら、今度は異良の[illegible]に掛らなければならない。いかな勇士も[illegible]案際も繼穩を恐れるもの。助左衛門[illegible]

思ひ申され、その儀は御無用に致されへ」

斯う斷然云ひ放つを

『さらばやはり飽入行義ぢや』[illegible]

門の勸告に應じ難ねたのも、その弱點があるからであつた。助左衛門は其處になると根強い點がある

『當家にも用意はあらう。然しお互に力を協せて、一方に血路を開くべく戰はば、望みの遂げられぬ事はあるまい。貴殿が進みなくば拙者だけ通れ出る』

『まづ御所望の程を仰せられ。同じ運命に落ち、同じ邸の月を見るも、宿世不思議の御縁と存ずる。時宜に由らばお力を添へまいに限りも申さぬ』

利右衛門は成るべく話を外らさうとする。助左衛門は異成の姿を云ひ離ねる。そこに堅い壁があるので、膝を交へて坐つては居るが、その間は千里の距離であつた

『いや〜』と助左衛門は頭を掉つて『不肖ながら武士の端を穢す人手を借りて望みを遂げたいとは

利右衛門の顏は日を衝いて出た

『お待ち召されへ』

助左衛門は振り返つて

『拙者の志は反古となつた。今は拙者の進む路を進み申す』

『いや、同道せう』

『さらば心を同一にして』

『おゝ』と利右衛門も立ち上る

自分はさほどに思はなくても心が結び合つて、同じ道に進むことがある。利右衛門は初鴉の助左衛門と行動を共にするつもりではなく不思議にも手を引合つた

『そつと參られへ』

助左衛門は前へ進む。利右衛門としては自分の地位を抛つことが説明して置きたかつた

『拙者實は刑[illegible]ち申やへ』と[illegible]

『なに、お手前が？』と下へ降りながら云つた

『おゝ、此の屋敷を出るが最後、民部殿の手が離れるが最後、罪人として扱はれねばならぬ身ぢや』

助左衛門は意外に思つたが、それを問うしやう餘裕も無い

『委細は外へ出てから訊く』

『假し、さらば同道せう』

二人は前後に心を配りながら廠の塀をさして進んだ。邸内に隈なく配られた番人も、草木さへ眠る丑滿頃には心が弛むのか、誰れ[illegible]

新年吟

○若水をさげて來て爾燭たり　攀田
○机だしくさな此三日寒く　拔
○喜び話しも[illegible]なくて　虎也
○元日の顔からの音傳[illegible]　鳥
○元日の何[illegible]

静軒君へ

[illegible]

乾鮭

○乾鮭の日方はつきり[illegible]
○乾鮭の脂垂る地形[illegible]

馬力で運轉する喞筒

最近米國の或田舍で新道路を造る爲め沼水を退治する爲めに使用された所の馬力に依つて運轉する喞筒が發明された。其構造は[illegible]單で使用法は[illegible]に一頭の馬を[illegible]ぎ喞筒の周圍を廻らすのであるが、うすると聯動機の作用で聞塔中の喞子が上下して水が汲上げらる[illegible]では古機械の復活の如く看做され一般に珍らしく感ぜられて居る蓋し馬を使用して開發農業園藝等を營む者に取つて此喞筒は甚だ便利なことがあらうと言はる

皮膚科　黴毒科
皮膚病　黴毒　淋病　婦人病　花柳病
京城明治町一丁目
佐藤醫院
電話一一七三番
入院隨意（金棒通り）

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目（本町より入る中程）
入院隨意　電話二一〇二番

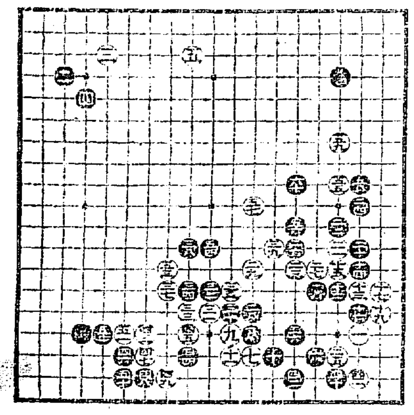
牛乳　御用　岡野牧場

新刊紹介

▲婦人週報（四八一）[illegible]
▲報徳（八の二）[illegible]
▲奉天商業會議所月報（六二）[illegible]
▲良民（二月號）[illegible]
▲大日本新聞（月二回）[illegible]
▲電氣界（一月號）四十錢[illegible]
▲婦人世界（二月號）[illegible]
▲肥料研究會（一二の一）[illegible]

碁戰

十番碁　第四局の三　（黑）山田[illegible]　（白）[illegible]



米國に於てはダンソン機關を以て運轉さる喞筒が流行し始めて以來[illegible]

たんせきぜんそくの苦しみを切る

たんせきは
除病に變ぜぬ内
早く治療せねば肺炎、肋膜炎となる
たんせきぜんそくの專門藥として最も有名な良藥龍角散の服用が最大急務です

龍角散

數年たん咳ぜん息に
龍角散の特長
香味爽快にて服み易く、小兒の服用に一層適當なり
龍角散で偉効ある病名
▲たん咳に苦しむ人
▲ぜんそくで困る人
▲せき痰に苦しむ人
▲病氣にて喉を痛めた人
▲百日ぜき又はしかぜきの小兒
▲聲の嗄れた人
▲喉を使ふ人

定價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓
本舗　藤井得三郎

朝鮮高麗人參
直取引商
本舗　津村兄弟商會
支店　津村支店
龍山支店　大邱支店

診察時間
自午前九時至午後六時
初診の御方は午前中
京城長谷川町一丁目
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

內外科　小兒科　花柳病
高井醫院
院長　高井貞治
副院長　松崎正彦

サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話一四八四九・一四五四番

イケダ小兒病內科醫院
電話三〇二三番

背廣冬服
オーバーコート
金參拾九圓
金參拾六圓
金參拾圓
京城日報社代理部

外科花柳病　內科小兒科　婦人科
京城南山町二丁目
二宮崎醫院
電話三〇六八番

最新刊
京城 田村質店

大阪屋號書店

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
×大智丸　大阪行（鎭南浦經由）　二月六日　午五時出
木浦、釜山、巖原、神ノ浦、長崎行
×安東丸　一月廿八日　後二時出
×安東丸　二月十一日　後二時出
大連行
安東丸　二月七日　正午出
安東丸　二月十四日　正午出
鎭南浦行
仁川丸　一月　日　正午出
元山出帆
西湖津、新浦、城津、清津行　宮島丸　一月廿九日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　一月廿九日　後九時出
大連出帆
上海、基隆、打狗行　湖北丸　一月卅一日　前六時出
基隆丸　二月九日　後四時出
南米行　毎月一回
北米行　毎月二回
孟買行　毎月二回
南洋行　毎月一回

朝鮮郵船 出帆
元山より北鮮各港經由雄基行
京城丸　一月廿一日
群山丸　一月廿八日
釜山より[illegible]

尼崎汽船 仁川出帆
[illegible]

釜山出帆
[illegible]

日本郵船 仁川出帆
大連行、秦皇島行　[illegible]

阿波共同汽船 仁川出帆
共同丸　一月廿五日
仁川代理店　野口商會